Grant Thornton

太陽有限責任監査法人

Go Beyond Your Limit

RECRUITMENT BROCHURE 2024

太陽有限責任監査法人

HP: https://www.recruit.gtjapan.or.jp/（リクルートサイト）

X（Twitter）アカウント: @Taiyo_Recruit

リクルートサイト

X（Twitter）アカウント

"グラントソントン"は、保証、税務及びアドバイザリー・サービスをクライアントに提供するグラントソントンのメンバーファームのブランドで、文脈上は一つ又は複数のメンバーファームを表します。Grant ThorntonInternational Ltd（GTIL）とメンバーファームは世界的なパートナーシップ関係にはありません。GTILと各メンバーファームは別個の法人です。各種サービスはメンバーファームが独自に提供しています。GTILはその名称で一切サービスを提供しません。GTILとメンバーファームは、相互に代理せず、義務を負うこともなく、相互の作為又は不作為についての債務はありません。

©2024 Grant Thornton Taiyo LLC All rights reserved.

限界の先に、未開の成長がある。

太陽監査法人は、成長を続けるプロフェッショナル集団です。
変革が求められる監査業界において、
大手と中小の長所を兼ね備えたミッドサイズファームとして異彩を放つ私たち。
そのユニークさは、個々の公認会計士が組織の垣根を越えて、
縦横無尽に得たい能力・経験を得られる環境・風土を生み出しています。
人財を育てる上で私たちが重視しているのは、
「成長できるかどうか」はもちろん、「どのように成長できるか」。
自分が目指したい方向性を見出す。定めたゴールまでのロードマップを描く。
そして、働き方を選びながらキャリアを築くことができます。
多様な知見を有するゼネラリストを目指すのも、
特定の領域に長けたスペシャリストを目指すのも、あなた次第です。
ぜひここで「無限に成長できる自由」を手に入れてください。

CONTENTS

Chapter 1 成長メソッド

太陽だからこそ築けるキャリア 07
Special feature 01 / 私が成長できた理由「部門レスな働き方」 08
Special feature 02 / 私が成長できた理由「IPO業務」 10
「人財育成法人」であるために 12
目的別・職階別「研修プログラム」 15
Interview / コミュニケーション担当制度 16

Chapter 2 ワークスタイル

Cross talk / 若手VOICE 19
キャリアプラン 23
グローバル人財支援制度 24
グループ出向制度 26
「デジタル化」による業務効率化への取り組み 28
子育て支援制度 30
働き方や福利厚生・CSR活動 31

Chapter 3 業務内容

監査業務・IPO業務 33
パブリック・国際業務 34
金融業務・アドバイザリー 35
1年間の業務スケジュール 36

Chapter 4 太陽監査法人とは

太陽監査法人の強み 39
グラントソントンインターナショナル(GTIL)とは 40
施設紹介・海外拠点 42
国内拠点情報 44
法人概要 46
グループ会社 47
総括代表社員挨拶 48

Chapter. 1

成長メソッド

07 太陽だからこそ築けるキャリア
08 Special feature 01 / 私が成長できた理由「部門レスな働き方」
10 Special feature 02 / 私が成長できた理由「IPO業務」
12 「人財育成法人」であるために
15 目的別・職階別「研修プログラム」
16 Interview / コミュニケーション担当制度

太陽だからこそ築けるキャリア

Point

若手スタッフの成長を促す「コミュニケーション担当制度」を導入

太陽監査法人では、キャリアサポートの一環として「コミュニケーション担当制度」を導入しています。

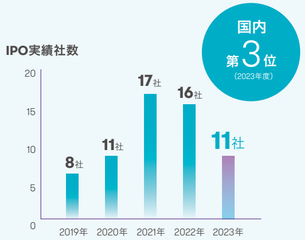
→ P16 コミュニケーション担当制度

Point

大多数のスタッフが強い会社づくりで指導的機能を担う「IPO業務」に関与

国内第3位の上場実績（2023年度実績）を誇る「IPO業務」に、ほとんどのスタッフが携わっていることも特徴の一つです。

→ P10 私が成長できた理由 Vol.2



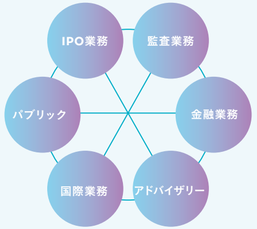
※TOKYO PRO Marketへの上場実績は含みません。
※合併等による影響については考慮せず法人単位で集計した順位を記載しています。

Point

上場会社数国内第4位の規模でも、あえてこだわる「部門レス」な働き方

太陽監査法人は、大手に迫る規模の集団でありながら、あえて業務ごとに部門を設けていません。

→ P8 私が成長できた理由 Vol.1



SPECIAL FEATURE 01

幅広いニーズに応えられる会計士を育む部門レスな働き方こそ、太陽の文化。

Daisuke Hanawa

花輪 大資

2006年入所 / 名古屋事務所 パートナー

育ててくれたのは、新人時代から今も変わらない組織の風土や体制。

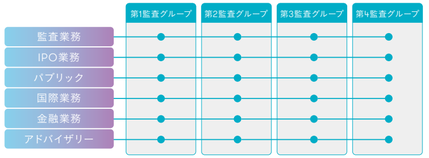
会計士の魅力は、単に専門知識があるということだけではありません。様々な企業・業種の実務に触れることで得られる多様な経験をもとに、幅広い場面で活躍できることだと私は思っています。私が就職先として太陽を選んだ理由も、早い段階から様々な業務経験ができる環境があると感じたことでした。当時はまだ小さな規模の監査法人だったこともあり、新人であっても戦力として、少し背伸びが必要な業務に挑戦することが求められました。その挑戦を後押しし、常にサポートしてくださったのが先輩方でした。私が新人の頃に比べて、太陽は10倍ほど大きな規模の監査法人に発展しました。一方で、私を育ててくれた太陽の組織風土の根幹は、新人の頃のまま変わっていないと断言できます。その証の一つが、部門レスな組織体制を今もしっかりと維持していることです。組織が大きくなっても貫いている理由は、社会の幅広いニーズに応えられる会計士を育てることを大切にしているからだと思います。

多様な業務経験が、新たな挑戦を支えてくれる基礎となる。

実際に私自身も若い年次から、上場会社だけではなく、IPO準備会社、公益法人、外資企業などの監査や、財務デューデリジェンス業務などの非監査業務を経験することができました。その後、インドに駐在してジャパンデスクを立ち上げ、営業活動、税務や事業上の相談に対応しました。ほとんどが未経験の分野への挑戦でしたが、駐在前の様々な業務経験が何らかの道しるべとなり、怯まずに挑戦することができました。日本に帰任後は、監査パートナーとして常に全体感を意識して判断することが求められますが、このことにも部門レスな働き方で培った多様な経験が活きていることは間違いありません。会計士として自分に枠や限界を設けず、いろいろなことに挑戦していきたいと願う皆さんが、太陽で仲間になってくれることを楽しみにしています。

一般的な組織体制（部門が分かれている）

太陽監査法人の組織体制（部門レス）※東京事務所



SPECIAL FEATURE 02

監査という枠組みを超えたIPO特有の業務が、国民経済に寄与する会計士を育てる。

Takanori Ogata

尾形 隆紀
2008年入所 /
東京事務所 IPO統括支援室 パートナー

上場審査という監査とは別の切り口から会社を見て改めて感じた会計士の重要な役割。

太陽では、若い年次からＩＰＯを目指す企業への関与が多く、私自身も多数のショートレビューを担当し、主査として担当したクライアントが上場まで辿り着いた経験もすることができました。より上位の年次になると、ＩＰＯ準備会社の監査契約受嘱の窓口担当となる機会も増えるようになりました。「監査」の側面からのＩＰＯ業務への関り方を深める中で、ＪＰＸ(日本取引所自主規制法人)の上場審査部に出向する機会を得ました。取引所では、ＩＰＯ準備会社の上場申請の審査を行いましたが、その際には、決算数値の前提となるガバナンスや経営陣の資質を問い、上場会社としてあるべき姿を常に念頭に置いて審査が行われます。この上場審査の経験は、これまで「監査」という側面で見ていた会社を、別の切り口から見ることができるとても新鮮で貴重な機会でした。監査法人の役割は、直接的には決算数値への保証がその第一義的な役割ですが、それに留まらず上場審査の際に求められる観点を持ってクライアントに接することは、資本市場の番人の入口での重要な役割です。また、そのような姿勢こそが、クライアントにとっても市場の中でより成長するために必要なことであり、上場後の会社に対して監査する時にも重要であると感じます。現在はパートナーとして業務に携わっていますが、私の役割は監査という枠組みを超え、取引所と監査法人の橋渡しを行いながら、国民経済の円滑な運営に寄与することにあると考えています。

職員も、クライアントも、一緒に成長していく法人。それが太陽。

太陽に入所した頃、思い描いていたのは「できるだけ早く会計士として成長すること」。当時の面接官から、「一緒に太陽を成長させていこう。きみの成長に負けないように、私もパートナーとして法人を成長させていく」と言われたことが、入所を決めた理由の一つでした。それから十数年の月日が流れ、私は今、この面接官と協働し同じ監査報告書にサインをしています。振り返ると、当時思い描いた以上に成長した自分がここにいます。受験生の皆さんには、私が入所時にかけてもらった言葉の一部をアレンジして、次のように伝えたいと思います。太陽は、成長していく法人です。職員もパートナーも、そして、クライアントも一緒に成長していきます。その一つとしてＩＰＯを目指す企業の成長があり、その先には上場があり、上場した後も市場の番人として監査で果たすべき役割を全うしていく。そんなキャリアを念頭に置いて働ける太陽で、ぜひ私たちと一緒に成長していきましょう。

IPO実績社数11社
国内第3位
(2023年度)

「人財育成法人」であるために。

個々の自由な成長を後押しするとともに
外部環境の変化にも対応できる会計士を育てる。
これが「人財育成法人」としての目指すべき形です。

人事部 パートナー
野田 大輔

一人のプロフェッショナルとして
“自信”をもって現場に入れるプログラムの提供

実務に対する漠然とした不安	アプローチ	
何が不安なのかを知る	聞く	● 基礎力を付けるためのレクチャー › インプットを通して足りないものを認識
自分の考えを発信することによる安心感の醸成	話す	● 身に着けた知識を使って意見を交わす ● 題材を使った演習 › “話す”というアウトプットを通してできるという安心感を持つ
形にすることで自信に変える	やってみる	● 実際の資料を使って監査調書を作ってみる ● 実際の資料を使ってロールプレイをする › 現場でどのように知識を生かすのかを体験し安心感を自信に変える

“自信”をもって現場へ

太陽監査法人では一人ひとりの自由で個別的な成長を促し、後押しする環境を提供します。個々の強みを活かすことが、組織としての高いパフォーマンスの発揮につながるものと考えています。

とは言っても、新人から個別性の高いカリキュラムを用意しているわけではありません。公認会計士試験の受験勉強を通じて、一通りのインプットを行っていても、理論と実務のギャップに漠然とした不安をお持ちの方が多いのではないでしょうか。

太陽監査法人では、こうした不安に対して、「聞く」、「話す」、「やってみる」という3つのアプローチによって、皆さんが自信をもって現場に入って行ける研修プログラムを用意しています。

すなわち、単に必要な知識をインプットするだけでなく、その知識を使って自分の意見を「話す」機会を作ることで、知識の定着とアウトプットの力を養います。そして、実際の資料を使った監査手続を「やってみる」ことで、インプットした知識をどのように現場の業務で生かしていくのかを学びます。

こうしたプロセスを経ることにより、漠然とした不安を抱えた皆さんが、自信をもって現場に入っていけるよう支援しています。

目的別・職階別の「研修プログラム」

ディスカッションやケーススタディ等の「アクティブラーニング」を積極的に取り入れ、単なるインプットに留まらない様々な研修プログラムを用意。
特に入所初年度は、監査実務にスムーズに入っていけるよう、複数のタイミングに分けて数多く実施しています。

		スタッフ	シニアスタッフ	スーパーバイザー	マネジャー/シニアマネジャー	パートナー
ビジネス・人的スキル		**ビジネススキルベーシック研修** ● PCスキル ● ロジカルシンキング ● ビジネスマナー ● アサーティブコミュニケーション ● タスクマネジメント ● フォロワーシップ	**ビジネススキルアドバンスト研修 I** ● プレゼンテーション ● ネゴシエーション ● リーダーシップ		**ビジネススキルアドバンスト研修 II** ● コーチング ● マネジメント	**パートナー研修**
会計・監査スキル	監査手法研修	● サンプリング ● 監査ツール利用技法 ● **CAMP** 新人研修だけではなく、スタッフ全体にわたって実施	● IPO監査	● Data&Analytics ● AUP ● コンフォートレター ● トランザクションサービス業務		
	継続研修	● 会計基準研修 ● 職業倫理研修 ● 専門領域研修（金融・国際・パブリックetc） ● IT監査研修 ● 内部統制 ● 監査実務研修 ● IFRS研修 ● 税務研修 ● 不正事例				
グローバル・コミュニケーション		● 英語自己学習プログラム（e-Learning含む） ● Online英会話レッスン ● GTILトレーニングプログラム ● TOEIC受験補助 ● 海外トレーニープログラム				

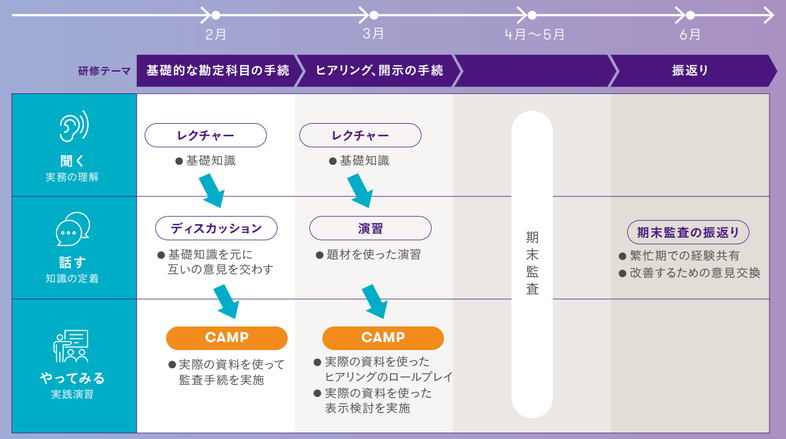
新主査研修

Focus

新主査研修

初めて主査を経験する方を対象とした研修で、主査としてのマインドセットから、主査の行動など基本的な動き方などを学ぶことができます。また、これから主査を担当するという同じ環境下にある方達が集合するので、横のつながりを作る機会にもなっています。
主な会場は軽井沢研修センター。非日常な空間で2日間仲間と共に学び、受講者それぞれが多くの気付きや学び、そして仲間との絆を持ち帰ってくれています（今後は和歌山研修センターでも実施）。

太陽監査法人の新人研修



新人研修で重視している点は2つあります。
1つ目は、一度に多くを詰め込まないということ。2月と3月の2回に分けて実施することで、各々が研修内容を整理する時間を作ることができます。
2つ目は、研修と現場経験を交互におこなうこと。2月と3月の研修の間に、現場に入る期間を設けることによって、「聞く」、「話す」、「やってみる」で身に着けたものを、いよいよここで実践してみます。そして一度現場に出ることで、具体的な現場のイメージを持つことできるようになり、3月の研修の理解がより一層、促進されると考えています。

Focus

実践形式の研修「CAMP」

- 配属前に実務を経験することで、自信をもって監査現場に参画できる。
- ミスや質問に対し何度も学習できるため不安を解消できる。
- 同期の仲間と横のつながりが強くなる。
- 研修時に配属先の上長と良好な関係を築けるため、現場配属後にも良質な環境が構築される。

INTERVIEW

コミュニケーション担当制度

定点観測的に支援できるので、自分事としてアドバイスにも力が入ります。

この制度は、成長していく上で大切なセーフティネットになっています。

青木 晃太郎
2021年入所 / 東京事務所 スタッフ

本田 祥人
2015年入所 / 東京事務所 シニアマネジャー

各職員に担当者が付き、仕事の悩みなどをカウンセリングする「コミュニケーション担当制度」。入所1年目から、パートナーに就くまで、キャリア支援が続くことも制度の特徴の一つです。どのようなコミュニケーションが交わされているのか、ひと組の事例を紹介します。

周囲に相談しにくいことも、本音で相談できる存在。

青木　コミュニケーション担当である本田さんとは入所時から面識がありました。ただ、監査現場で一緒になったことはなく、直接私の仕事を評価する関係性ではありません。現場の悩みについて監査チーム内で相談しにくいことがあったとしても、監査現場で一緒に仕事をしない本田さんには気兼ねなく相談できるため、セーフティネットといえるほどの安心感を与えてくれています。また、本田さんは温厚で話しやすい方なので、職階はかなり上の方ですが遠慮せずに本音で会話ができます。

本田　監査現場で直接の関わりがあると、その現場の事が相談しにくかったり、他に携わりたい業務やその現場での人間関係だったりなど、相談しにくいこともあるはずです。そうした意味でも現在の関係性は適していると思いますし、私も相談しやすい雰囲気づくりを心掛けています。もちろん青木さんの仕事ぶりや性格も把握しています。少なくとも半年に一度面談を行い、主査による業務の評価はコミュニケーション担当である私から本人に直接フィードバックしているからです。

青木　いただくアドバイスは業務上の改善策に留まりません。将来的には特定の業務で専門性を発揮したいと考えていますが、現在はまだ定まっていないため、キャリア形成のヒントになる実体験や事例についても聞かせていただいています。

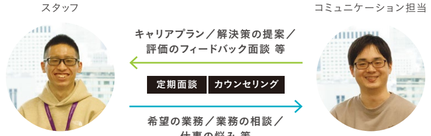
太陽の規模感だからこそ、この制度は機能する。

本田　会計士のキャリアには多様な選択肢があり、若手の皆さんが悩む気持ちはよく分かります。私が実体験を踏まえて話すのは、「興味をもった業務は深く悩まずに若手のうちに全部やってみる」ということです。経験するうちに点と点が繋がり、1本の線として見えてくるものがキャリアだと捉えています。

青木　そう聞いて気持ちが楽になり、上場会社の監査のみならず、IPO業務やパブリック・アドバイザリー等、より一層部門レスに働いてみようと踏み出すことができました。また、成長が早いと感じるのは、同じ担当者の方が継続的にサポートしてくださることも大きな要因だと思います。

本田　コミュニケーション担当制度を通じて二人で定点観測的に振り返りができ、次の目標を決めていけるので、自分事として本人の道を切り拓く支援ができます。太陽は業務ラインナップが豊富で各分野の専門家も集まっています。それでいてお互いの顔が分かり繋がることができるミッドサイズな唯一のプロファームです。この制度は、存在するだけではなく機能してこそ価値があり、太陽の規模感だからこそ成立すると思います。

コミュニケーション担当制度とは



Chapter. 2

ワークスタイル

19 Cross talk / 若手VOICE
23 キャリアプラン
24 グローバル人財支援制度
26 グループ出向制度
28 「デジタル化」による業務効率化への取り組み
30 子育て支援制度
31 働き方や福利厚生・CSR活動

CROSS TALK

若手VOICE

若き会計士が太陽に期待した仕事と成長。

個々の職業観や求める働き方が時代とともに変化し、
監査法人に就職する人の志望理由やバックグラウンドも多様化しています。
太陽監査法人を選択した若き会計士は何を期待し、どんな成長を遂げているのか。
年齢も経歴も異なる入所2年目の3人が胸の内を明かしました。

CROSS TALK

多様なキャリア志向や価値観に応える監査法人

松下 真大
2年目（J2）/ 東京事務所 スタッフ

茨城県出身。2022年12月入所。商業高校時代に簿記検定に合格し、会計士を目指せる大学に進学。2年次に短答式試験に合格し、3年次に論文式試験に合格。学生非常勤として入所し、2024年の4月に常勤職員となる。

鶴田 静
2年目（J2）/ 東京事務所 スタッフ

東京都出身。2023年2月入所。大学卒業後は企業で経理職を務める中、柔軟に働ける有資格の仕事として会計士への転身を決意。仕事や家事と両立しながら資格試験に挑み、論文式試験合格後に入所。

山本 匡
2年目（J2）/ 東京事務所 スタッフ

大阪府出身。2022年12月入所。地元で就職後、手に職をつけようと会計士資格の取得を決意。上京して会計事務所に再就職し、働きながら短答式試験に合格。その後、短答合格者採用にて入所し翌年の論文式試験に合格。

Q. まずは太陽に入所を決めた理由を教えてください。

松下　一言で表すと、雰囲気の良さが入所の決め手でした。面接官だったパートナーも私の考えをしっかりと受け止め尊重してくれる上に、接し方がフランクだったので、働きやすくて楽しく仕事ができると直感的に思いました。

鶴田　私も雰囲気に惹かれましたが、入所の決め手になったのは監査法人としての規模感でした。監査チームの人数が比較的少なく、若い年次から仕事を任される環境で働きたいと思っていました。その点、太陽は準大手の中でもクライアント数が多いため、様々な現場を経験できると思い、入所を決めました。

山本　私は大手・準大手・中小と一通り話しを聞いたなかで入所の決め手になったのは、人や組織の風通しの良さでした。リクルートイベントでの職員による座談会でも、若手スタッフがパートナーに対しても積極的に発言していました。自分の考えを持ち、気軽に質問できる風土があることは、若手が成長する上で一番大事なことだと思います。

鶴田　同感です。私は３０代で会計士に転身したので、成長スピードの速さは重要でした。

松下　成長という点でいえば、パブリック、金融業務、国際業務など、多様な業務を経験したいと考えていたため、入所時に業務を絞らず、部門レスに働けることも自分の志向に合っていました。

個々の希望を叶え、一早く成長できるサポート

Q. 希望した業務に関与できていますか？成長したと感じる点も教えてください。

山本　自分がやりたい業務と、自分に合っている業務は、異なると思います。そのため極めたい領域を探すためにも、「一通り全ての業務に関与したいです」とお願いしました。結果として、興味があった金融業務やパブリックの他、ＩＰＯ業務や上場会社の監査にも関与できています。

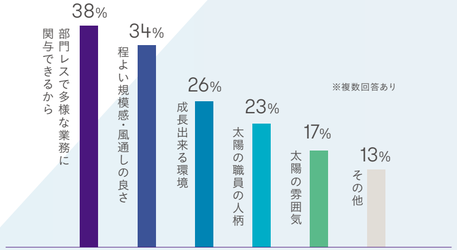
鶴田　私はＩＰＯ業務に興味があり、1年目から3社ほど関与しています。上場会社での監査経験を活かして、ＩＰＯ業務にも携わっています。

松下　私はパブリックを希望しました。部活動でサッカーに邁進していた時期があり、ご縁があってスポーツ関連の公益法人をアサインしていただきました。

鶴田　チーム内での自分の役割を意識し、能動的に動けるようになったことに自分の成長を感じます。

Q1. 太陽に入所した一番の決め手は何ですか？

（太陽監査法人のJ2・J3アンケート結果より）



松下　私は往査の現場で主査の仕事ぶりを学びました。また、調書も限られた時間の中で、より正確に作成できるようになったと思います。

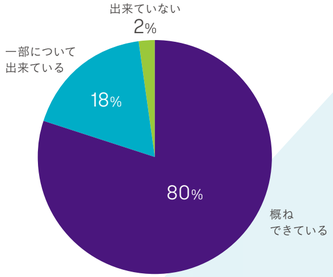
山本　調書を見た主査や先輩方が、忙しい時期でもコメントをくれるので、調書の完成度が自然と上がっていきました。また、同期のつながりも成長要因の一つです。同期同士で分からないことを相談するグループチャットがあり、気軽に相談できます。同期ですが、それぞれ異なるクライアントで違った経験を積んでいるため様々な経験談から回答を得ることができます。

鶴田　研修プログラムも成長の支えになっています。業務の予習や復習でも役立っているのが、テーマ別に用意された数十種類の動画コンテンツです。パートナーによる解説がわかりやすく、さらに興味を惹く工夫がされているため負担なく見ることができます。

松下　動画は、リクエストに応えて増え続けていますよね。

Q2. 希望していた業務に関与できていますか？

（太陽監査法人のJ2・J3アンケート結果より）



働きやすい職場が生む高いモチベーション

Q. 今後の目標を教えてください。受験生の皆さんへのアドバイスもお願いします。

松下　一日も早く主査になり、監査チームを主導できるようになることです。そのためにも、クライアントから信頼され、監査に関する知見を増やして後輩に伝えられる存在になりたいです。

山本　私はグループ出向制度を活用し、GTA*でアドバイザリー業務を経験したいと考えています。太陽でGTAでのアドバイザリー業務を体験できる機会があり、正解のないアドバイザリー業務は、最適解を考えるプロセスが好きな自分に合っていると思いました。

鶴田　私の目標は、IPOチームの一員として関与したクライアントが上場できる手助けをすることです。もう一つは、公認会計士の知名度を上げること。魅力を多くの方に知ってもらうことで、もっと女性の会計士も増えればと考えています。太陽にはライフステージの変化を経て長く活躍している女性が多く、既婚者である自分も働きやすさを感じています。

松下　昨年リクルート担当を務めましたが、受験生の皆さんには「会計士の仕事は大変ですが、太陽の働く環境や人は大好きです」と伝えてきました。それは本心です。

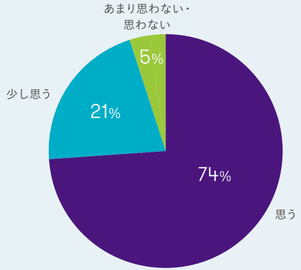
山本　監査法人を選ぶ際に「自分の働きたい職場よりも、自分の性格にとって良い職場かどうかで選ぶ。」これは、ある監査法人の方から就職活動中にいただいた助言ですが、後者の方がたとえ仕事がハードでも長続きするし、後悔がないので 私も同じ考えです。

鶴田　オフィスツアーも用意されているので、ぜひ働いている様子を見て、この太陽の雰囲気を実際に感じ取って頂きたいです。

*GTA：太陽グラントソントン・アドバイザーズ株式会社

Q3. 話しやすい・相談しやすい環境だと思いますか？

（太陽監査法人のJ2・J3アンケート結果より）



自分らしく活躍できる「キャリアプラン」

プレイヤーとして実力を高めていく道や、マネジメント領域で能力を発揮する道もあれば、海外のメンバーファームに赴任して研鑽を積む道もある太陽監査法人。
一人ひとりが自分らしく活躍し、独自のキャリアを構築するための選択肢が広がっています。

パートナー	業務に関する最終的な責任を負うとともに、法人の経営者として様々な役割を担います。
シニアマネジャー	豊富な経験や知識をもとに、様々なプロジェクトをリードする責任者であり、実務能力だけではなく、高い管理能力も求められます。
マネジャー	複数の監査チームをリードし、自らの経験や知識を生かして、プロジェクトをゴールに導く役割を担うため、高い実務能力だけでなく、社内外との高いコミュニケーション能力が求められます。
スーパーバイザー	複数の監査現場を取りまとめ、各監査現場の問題点の把握・解決をする役割を担うため、高度な実務能力が求められます。
シニアスタッフ	監査チームの現場の指揮をとる役割を担い、クライアントとの実務的な問題の把握・解決に導きます。
スタッフ	研修やOJTを基礎として、監査の実務に従事し、基本的な監査の実務能力の習得をします。

事業会社等への出向
- 事業会社への出向
- 官庁等への転籍

海外
- GTILのメンバーファームへの海外赴任

詳細はP24に記載

グループ会社への出向・転籍
詳細はP26に記載

- 太陽グラントソントン税理士法人
- 太陽グラントソントン株式会社
- 太陽グラントソントン社会保険労務士法人
- 太陽グラントソントン・アカウンティングサービス株式会社
- 太陽グラントソントン・アドバイザーズ株式会社

外部で活躍する先輩達
太陽監査法人での経験をもとに、監査法人を退職して、新たなステージでの活躍
- 会計事務所の独立開業
- 既存の事業会社のCFO、経理担当者
- 新規会社の設立 等

GTIIネットワークを活かした海外駐在/トレーニー制度

Interview

クライアントのグローバル化が加速する中で、海外子会社や現地監査法人との連携は不可欠です。
太陽では、リーダーシップを発揮でき、グローバル人財へ成長する海外駐在の機会を提供しています。

海外に挑む自信に溢れた会計プロフェッショナルへと成長。

池田 美帆子
2018年入所 / 東京事務所 スーパーバイザー

人生を変えた、夢のプログラムとの出会い

「海外トレーニープログラム」の募集告知を目にした当時、私は東北事務所で主に地元企業の監査を行っていました。国際業務には関与しておらず、英語圏で長期滞在したこともありませんでした。米国で半年間の駐在業務を2回経験できると知り、まるで夢のプログラムのように思えました。パンデミックの最中でしたが、チャンスを逃すまいと即座に応募し、米国グラントソントンのロサンゼルスオフィスに派遣される機会を得ました。業務では、現地の監査チームをサポートするのではなく、主査として監査を進めることがミッションでした。

駐在員と変わらない経験を積んだ貴重な日々

日本で主査経験がなかったため、当初は何から手をつければいいのか戸惑いました。しかし2回目の駐在時には、国内各地に出張して現場往査を行えるようになり、プログラムを終えた時は満足感と自信に溢れていました。帰任後は東京事務所に異動し、国際会計基準を導入するクライアントの主査を担当しました。海外トレーニー時代に、会計処理について経理担当の方と英語でやりとりした経験が活かされていると実感できました。駐在員になるという目標が確固たるものとなり、今後はGTジャパンデスクを盛り上げる存在になりたいと思っています。

2018年
太陽監査法人（旧 優成監査法人）に入所

2019年
論文式試験合格後、東北事務所で宮城県の包括外部監査等に従事

2021年
海外トレーニーとして米国ロサンゼルスに出向（計2回）

2023年
帰任後、東京事務所に異動。国際業務を中心に従事

グローバル人財になるための「支援制度」

世界を舞台に個人のスキルを最大限に発揮できるように、海外での業務に活きる語学力養成プログラムや、各国での駐在業務や想定したトレーニング等、研修を中心とした4つの支援制度を設けています。

1 英語自己学習プログラム

TOEICで一定以上の点を獲得した社員・職員は、Online英会話レッスンが受講可能となります。なお、TOEIC受験の費用は法人より補助金が支給されます。

対象者 全ての社員・職員
- ビジネスEメール
- もう一度英語（ビジネス編）
- TOEIC対策コース

対象者 TOEIC一定点数獲得者
- 外国人講師Online英会話レッスン

2 GTIIトレーニングプログラム

グラントソントンインターナショナルの研修プログラムに定期的に派遣しています。グローバルレベルの交流、ビジネスやIFRS、監査品質水準等、目的は様々です。各国の提携事務所の職員が特定の都市に集合したり、オンライン上で研修を実施しています。

主な研修
- Senior Leadership Programme
- Exceptional Coach Programme
- Advanced Leaders Programme
- Emerging Leaders Programme
- IFRS Training
- PCAOB Training
- ISA Training

3 海外トレーニープログラム

業務を通じて活きた語学力を身につけ、関与先のグローバル化、クロスボーダー取引の増加に対応するとともに、英語で討論のできる人財を育成することを目的としています。

- 対象者　：修了考査合格者、USCPA取得者
- 派遣先　：米国（今後順次拡大する予定）
- 選考　：希望者の中から選考
- 期間　：原則として、半年間を2回
- 業務内容：現地法人の監査業務

4 各国駐在員

P40、P41で掲載している「ジャパンデスク」のある特定のエリアへ駐在員を派遣しています。ボーダーレスにクライアントサービスを提供できる人財を育成していくことを目的としています。

携われない実務を経験できるグループ出向制度

Interview

国内グループに一定期間出向できる制度です。
培った専門知識や経験を監査業務やキャリアに活かすことができます。

苦手意識を克服し、成長するために一念発起

「会計の業界に携わる上で避けては通れないのが税法の領域です。財務諸表監査を受けているような法人では、その計算は非常に複雑で、金額的重要性も高い傾向にあるかと思います。しかし、私にはスタッフ時代からどこか苦手意識がありました。独学で勉強し、税制改正に関する記事を熟読しても、なかなか法人税等の計算過程や全体感のイメージが沸きませんでした。この制度の出向先に税理士法人があることを知り、一員となって法人税等の申告書の作成業務等に従事することで理解が深まり、自身の成長につながると考えて応募しました。

税理士と協働し、仕事を通じて税務を学んだ2年間

税理士法人では、法人の法人税、地方税、消費税といった申告書作成業務を主に行いました。他にも、税務顧問としてインボイス制度や電子帳簿保存法の適用のための相談対応、組織再編のための株価算定業務等、携わった法人税務は多岐にわたります。また、監査法人では接点のない個人の方にも応対し、所得税や贈与税等の申告業務を経験しました。専門家である税理士の方々と一緒に働ける環境に身を置き、仕事を通じて税務を学ぶ。そうした貴重な経験を積むことができたこの制度のおかげで、税法の領域が自分の強みになりました。

遠藤 祐希
2015年入所 / 東京事務所 スーパーバイザー

2015年
太陽監査法人に入所

2019年
上場会社の主査を担当

2022年
太陽グラントソントン税理士法人に出向

2024年
出向先から帰任

税務、アドバイザリー、会計に携わる「グループ出向制度」

一定程度の監査実務経験を有した者が、国内グループである太陽グラントソントン税理士法人、太陽グラントソントン・アドバイザーズ株式会社、株式会社サンライズ・アカウンティング・インターナショナルへ一定期間出向し、監査法人では実施できない実務経験をし、出向期間に培った知識・スキル等を監査業務や今後のキャリアへ活かすために考えられた制度です。

実施要件

- 出向先で実施したい内容を明確に持ち、その業務を最後までやり抜く意思があること
- 主査を2〜3年程度経験していること（職階：シニアスタッフ以上）

※グループ会社についてはP47に記載

会計士を支える「デジタル化」の最前線

監査の高度化・効率化、公認会計士の”力”を拡張させるデジタル化活動

太陽では、AIを含む監査のデジタル化によって、監査の効率化・高度化のための取り組みを実施しています。
どのような特徴や方針があるのか。皆さんの疑問や懸念にお答えします。

Q. 太陽が進めるデジタル化の特徴は？

A. 独自の「データ活用」の仕組みがあります。

デジタル化で最も重要な要素は、“データ”です。データを良い形で保持できずにデジタル化を失敗するケースが世の中に多くあります。太陽では、監査の対象とする会計データ等を扱いやすい汎用的な形式に変換する独自の自動化プログラムを導入し、あらゆる分析ツールやAIアプリケーションにデータを活用できるようにしています。ミッドサイズファームの太陽では、大手規模の上場企業から中小規模のベンチャー企業、様々な業種や業界の被監査会社のデータ・アセットについて知見を有しており、他の監査法人に無いユニークで恵まれたデータ環境でデジタル化を実現でき、面白い競争優位となると考えています。

Q. AI技術の発展とどのように向き合いますか？

A. AIは会計士を支える優秀な「参謀」です。

私の好きな漫画に、初めて中国統一を果たした始皇帝を描いた『キングダム』という作品があります。数多くの魅力的なキャラが登場しますが、どんなに力を持つ将軍でも、その力を発揮させる仲間が必ず周囲に存在します。太陽ではAIを、会計士の価値を支える優秀な“参謀”と位置づけており、独自の生成AIによる文書の生成・要約をはじめとしたサポート機能を実装しています。AIによって会計士の仕事がなくなる、といった刺激的な記事を目にする時がありますが、太陽は違い、会計士には経営者と対峙して判断・指導する生身の専門家としての価値があり、それを強力にサポートする存在が、AIであると捉えています。

Q. 業務推進室として求める人材像は？

A. 「変化」を楽しめる人材です。

せっかくなので『キングダム』の例えで続けますと、会計士が各々の個性を将軍として活躍できる環境を、業務推進室では整備・拡張しています（後頁の図を参照）。その結果、将軍としての闘い方は、この環境を活用するものに変化していくでしょう。その変化を楽しみ、個性や強みを積極的に伸ばしていける人材を求めています。ぜひ太陽で自身の“将軍像”を見つけてください。

横山雄一
2008年入所 / 業務推進室 室長 パートナー

めまぐるしく変化するビジネス環境、デジタル技術に対応し、社会からの監査に対する要請に応えるため、
現場で闘う公認会計士が本来の“力”を発揮し尽くすことができるよう、業務推進室を中心に監査の働き方を拡張する仕組みを作っています。

RPAによるデータ活用の自動化

会社によって異なる大量の会計データに対して、汎用データ形式にクレンジングし、監査で必要な分析様式やデータ分析ツールに出力する独自のRPA（Robotic Process Automation）プログラムを開発・実装しています。RPAはデータの『基地』となり、データ・アナリティクスやAIアプリケーションと連携して効果を発揮します。

AIの活用

太陽では、AIを公認会計士の『参謀』として捉え、独自の生成AIチャットによる文書生成・要約や品質管理マニュアルの検索機能、AIによる企業の業績情報の予測、また電子ファイルや画像データのAI解析・照合を開発・利用することで、公認会計士の判断のサポートや効率的な監査の実行に寄与しています。これからの世界では、さらに多くのことが生成AIの技術によって実現可能な社会が来ることを想定し、他のデジタル化施策と合わせて企画・開発しています。

公認会計士

シェアードサービスによる合理化

監査業務には、事務作業も多く役割分担が必要です。データ加工や資料間の整合性チェック、確認上の発送・回収等の事務業務を、『後方支援部隊』として独自のシェアードサービスチームを編成し、監査チームからアウトソーシングを受けて集中実施しています。シェアードサービスによって切り出された業務は、デジタルツールを駆使してより正確かつ効率的に処理しています。

データ・アナリティクス

大量の会計データを対象に不正を含む虚偽表示を発見しようとする公認会計士にとって、データ分析はもはや必須の『武器』です。太陽では、独自の仕訳データの分析ツールを監査チームで活用し、高度なデータ分析を実施しています。昔ながらの大量の資料のバウチングを行う物量作戦ではなく、データ分析によって的を射る効果的・効率的な監査を実現しています。

仕事と育児の両立をバックアップする「子育て支援制度」

個々人が望むキャリアや働き方を実現するサポートの一環として、多彩な子育て支援制度を設けています。
ライフスタイルの変化に合わせて、ワークスタイルも柔軟に変えられる組織を目指しています。

女性育児休業
取得率実績
100%
男性の育児休業取得者も
年々増加しています。

育児休業
取得後の復職率
100%
育児のための短時間勤務も
活用しながら復職しています。

- 産前産後休暇/育児休業
- 子どもの看護休暇※
- 出産祝い金
- 短時間/柔軟な勤務
- ベビーシッター利用費用補助

※ 看護休暇は一般的に"無給"ですが、
太陽監査法人では子育てへの支援を強化するため
"有給"としています。

豊岡 良平
2012年入所 / マネジャー

入所以来、上場会社（製造業、運輸業、小売業等）や金融機関、学校法人、IPO準備会社の主査など、幅広い業務に従事。2021年10月に第一子として長男が産まれ、その際に育休を取得。

周囲の理解や協力のおかげで、妻と育児の苦労を共有できました。

男性の育休は過去にも法人内で少なからず事例があり、スムーズに取得できました。もちろん担当業務の調整等は必要でしたが、取得できたのは協働するメンバーが快く受け入れ、支えてくれたおかげです。妻と育児の苦労を共有できたことは、本当に良かったと思っています。周囲にも時短勤務をしながら家事・育児と業務を両立しているスタッフなど様々な環境で働いているメンバーがいますが、それぞれが置かれた環境を理解し、認め合える価値観があることで、多様な働き方を実現できていると感じています。

辻村 敦子
2019年入所 / スタッフ

2013年10月会計士登録。2020年3月より第一子の産休・育休を取得。2021年4月に復職後は、時短勤務・在宅勤務を主に、製造業・IPO準備会社等の監査に従事。

育休復帰後はスタッフ業務に専念。子供と過ごす時間を大切にできています。

妊娠期間中は、体調を優先して「週４勤務」「近郊往査」「スタッフ業務」で働けるように配慮していただきました。また、産休前から育休後も事務局のバックアップがあり、安心して復職できました。職場の先輩ママたちとの交流も心の支えになっています。子どもの病気で休むことも多く、主に「時短」「在宅」で勤務を続けながら家事・育児を両立させています。定期的に面談で気軽に相談できるため、今後はライフステージに応じた働き方を模索していきたいと考えています。

多様な働き方を実現させる制度・休暇

休暇・休日	多様な働き方制度
有給休暇とは別に休暇・休日を充実させています。 ● 修了考査のための特別休暇（2週間） ● 公認会計士論文式試験のための特別休暇 ● 夏季休日 ● 年末年始休日 ● 産前産後休業 ● 育児休業　等	● 在宅勤務 ● 週4日勤務（4日間で5日間分の勤務をする形態も可能） ● 短時間勤務（育児介護以外の理由でも1時間/2時間の短縮） ● 副業制度

働きやすさを充実させる「福利厚生制度」

人が自然と集まるリフレッシュルーム	リゾート好立地の保養所
職員が心身ともにリフレッシュして仕事に取り組める環境を提供するために、リフレッシュルームを設けています。職員同士のコミュニケーションを図りやすく、仕事モードのオン・オフを切り替えることで、効率的に仕事に励むことができます。 ● 専属のマッサージ師による施術のサービスを提供 ● 卓球台・ダーツ台も設置	● **東急ハーベスト共有会員制システム** 軽井沢、京都、箱根、浜名湖、鬼怒川等 ● **ピステ石打リゾートマンション** 1回の利用につき1人1,000円（宿泊日数に関わらず）

職員も参加する太陽グラントソントングループの「CSR活動」

Grant Thornton CSR

太陽監査法人が加盟しているグラントソントンでは、毎年 CSR Day を設定し、各国の加盟事務所がCSR活動を積極的に行っています。太陽監査法人を含む太陽グラントソントングループは、公共性の高いプロフェッショナルファームとして、会計及び監査業務のほか、地域社会への社会的責任を果たすべくCSR活動を推進しています。

FITチャリティ・ラン

国際女性デー

募金活動・協賛活動

IPO業務

新規上場を目指す会社への監査業務やアドバイザリー業務を提供

IPOとは、Initial Public Offeringの略語で、日本語では「株式公開」や「新規上場」を意味します。監査法人のIPO業務とは、新規上場を目指す企業へのサービスを指します。若い年次から、上場会社だけでなく、IPO業務にも従事する事で、より会社のためになる、提案・指導する力が身に付きます。上場する会社は、一般的に上場する年度の直前2期間（直前々期及び直前期）の決算書について、監査法人の監査報告書が必要になります。そのため、監査法人は、直前々期及び直前期の監査を通じてIPO準備会社に対して指導的機能を発揮しつつ、持続的な成長を遂げる強い会社へと導く役割を担っています。

主な業務

○短期調査（クイックレビュー）
現状の会社の上場に向けた課題抽出及び対応策の検討
○アドバイザリーサービス
会計基準対応（収益認識基準、原価計算体制の構築支援、税務基準から会計基準への移行支援）/ 内部統制構築支援 / 事業計画作成支援 / ガバナンス体制構築支援 / ITシステム導入支援
○監査・上場申請書類レビュー
上場までの監査業務や、上場申請時に必要となる書類のチェック

監査業務

幅広いフィールドで監査業務を経験

多様な業種や、規模の大小等で様々なクライアントがあります。業種別に部門をわけることなく、監査業務を提供します。スタッフの時期から複数の業種、様々な規模のクライアントへ往査し、多角的に物事をとらえる能力を身につけます。若い年次のうちから多くの科目を担当することができるため、会社の全体像を早くつかむことができ、飛躍的に成長できます。シニアスタッフ、スーパーバイザーの時は、現場の責任者である主査業務を主に実施し、仕事の流れを理解し監査の全体像をつかむことができます。状況を適切に把握・共有するためのコミュニケーション能力を身につけ、知識や経験がより充実したものになります。さらにマネジャー、シニアマネジャー、パートナーになるにつれ、経営者目線で、クライアントのビジネスの理解や課題の抽出ができるようになり、クライアントからより信頼される監査人となります。

主な業種

製造業、情報・通信業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業、倉庫運輸関連業、REIT等

Chapter. 3

業務内容

33 監査業務・IPO業務
34 パブリック・国際業務
35 金融業務・アドバイザリー
36 1年間の業務スケジュール

アドバイザリー

企業が直面する経営課題に対する アドバイザリーサービスを提供

監査法人の監査業務に従事しながら、グループ会社の「太陽グラントソントン・アドバイザーズ株式会社」と連携して、アドバイザリー業務もクライアントに提供することが可能です。アドバイザリー業務を遂行することで、監査人と異なった目線で企業経営を捉えることができ、多角的な視点を養うことができます。監査業務とアドバイザリー業務のシナジーが、あなたの会計人としてのレベルを格段に引き上げます。

主な業務

○Financial Advisory　○財務・税務・ITデューデリジェンス
○バリュエーション　○グローバルトランザクション支援
○IFRS 対応サービス
○新規上場（IPO）支援サービス　○ESG関連アドバイザリー
○グループガバナンス構築支援　○経営管理業務支援
○内部統制関連サービス　○不正調査・危機対応支援
○不正予防支援・再発防止支援　○デジタルフォレンジック
○DX支援サービス　○グローバルSSC構築支援
○ITガバナンス構築・評価支援

金融業務

日本の金融システムの 安定化に貢献

事業会社の監査を同時に実施するため、金融機関が関与する様々な業界の理解が蓄積され、金融機関の貸出先に対する与信リスクの監査を充実したものにできます。また、金融業務で得た知識や経験を、事業会社の監査へ生かすことで、会計士としての視野が広がります。日本銀行のマイナス金利政策が解除され、住宅ローンや預金の金利引き上げなど、日本の金融機関は17年ぶりに金利上昇局面を迎えています。一方で、世界的な物価の高騰や急激な為替変動、人手不足や後継者不足といった様々な要因により、企業の倒産件数は増加しており金融機関が抱える信用リスクが高まっています。こうした金融機関の経営環境の下、我が国の金融システム安定化の一翼を担うものとして、監査法人による金融機関の厳格な監査が期待されています。

主な業種

○銀行・信用金庫・信用組合への会計監査
○証券業への会計監査

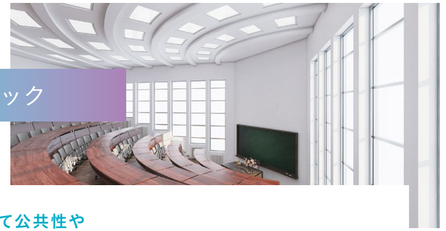
国際業務

世界中のメンバーファームと 連携

海外のグラントソントンメンバーファームと連携して、ボーダーレスな業務に従事します。また、業務を通じて、英語力の向上はもちろん、海外メンバーファーム人員とのコミュニケーション力、異文化の理解力を通じ国際的に活躍できる力を養うことができます。

主な業務

○リファードイン業務：各国グラントソントンの監査クライアント（外資系企業）の日本子会社の監査業務等への対応（監査、特定項目の監査手続、合意された手続、レビュー）
○リファードアウト業務：太陽監査法人の監査クライアント（日系企業）の海外子会社の監査/J-SOX業務を各国の海外メンバーファームへ依頼し、親会社監査人としてグループ監査を実施
○海外駐在：海外のメンバーファームに派遣し、現地にて実務を学びながら、ジャパンデスクとして日本・海外のメンバーファーム間の調整を実施
○海外トレーニー：海外のメンバーファームにおいて現地監査チームの一員として監査業務に従事
○海外メンバーファームと連携した、内部監査サポート業務



パブリック

監査を通じて公共性や 社会貢献を実感

パブリック・アカウンタビリティ（公的説明責任）を実現するべく、情報の透明性、有用性、信頼性向上に会計監査・アドバイザリー業務を通じて携われます。パブリック分野の監査には、「独立行政法人」「国立大学法人」「学校法人（私学）」「公益法人」「社会福祉法人」「医療法人」の6つの大きな柱があります。パブリック業務は幅広い領域があるので、専門性を磨きやすい分野です。

主な業種

○独立行政法人に対する会計監査業務、会計・内部統制アドバイザリー業務
○国立大学法人に対する会計監査業務、会計・内部統制アドバイザリー業務
○国民から負託された税財源で運営されている公益法人、学校法人、医療法人、社会福祉法人等の非営利法人に対する会計監査業務、会計・内部統制アドバイザリー業務
○国、中央省庁に対する会計支援業務、アドバイザリー業務
○地方公共団体に対する会計支援業務、アドバイザリー業務

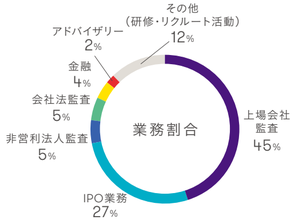
1年間の業務スケジュール

太陽監査法人の会計士は、複数の業務に携わる部門レスな働き方を実践しています。
どのように業務を推進しているのか、1年間の流れの一例を紹介します。

Case.1 入所4年目 スタッフ

若い年次から
様々な業務にチャレンジし、
自分の成長を実感できます。

橋本 真斗
2021年入所 / 東京事務所 スタッフ



2023

1月
- 冬季休暇
- 四半期レビュー
- 期末監査

前半は3月決算会社の3Qレビュー。後半は12月決算会社の期末監査が開始。

2月
- 期末監査
- 期末監査

12月決算会社の期末監査も終盤になり、表示チェックを実施。

3月
- 期末監査
- 内部監査支援
- スタッフ研修
- J-SOX

アドバイザリー業務では内部統制監査支援目的の支店現場視察のため、埼玉へ出張。現場のヒアリングを実施し、問題点をまとめ会社へ報告。

4月
- 棚卸立会
- 四半期レビュー
- 期末監査

前半は12月決算会社の1Qレビュー。後半からは信用金庫の期末監査が開始。独特の資料も多く一苦労。

5月
- 期末監査

3月決算の上場会社や学校法人など、複数のクライアントの期末監査に従事。

6月
- 期末監査
- 期末監査

有価証券報告書の表示チェックを実施。また、メインで入っている5月決算のIPOクライアントの期末監査が開始。

7月
- J-SOX
- コミュニケーション
- 四半期レビュー

7月決算会社の決算財務統制の評価手続を実施。また、非上場金商法会社の海外子会社に対するインストラクションを作成。

8月
- J-SOX
- 夏季休暇
- 有給取得
- 期末監査

夏季休暇は有給をつなげ長めに取得。

9月
- 監査計画
- リクルート

メインクライアントの計画調書を作成。リクルーターとしてオープンオフィスや個別相談に参加。

10月
- 期中往査
- 四半期レビュー

新規受嘱のクライアントの往査で、企業環境と内部統制の理解のためのヒアリングを実施。

11月
- 期末監査
- スタッフ研修
- 開示手続

IPO会社のIの部の表示チェックを実施。会社も初めて作成しているため、適正な表示になるまで何度も会社とコミュニケーションをとる。

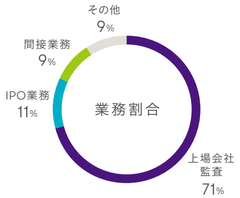
12月
- 期末監査
- スタッフ研修

当期より主査を担当する労働組合の期末監査。意見審査の準備など、主査ならではの業務を実施。

Case.2 入所9年目 スーパーバイザー

複数業務を担当するため、
作業の前倒しやアサインの工夫などの
監査業務効率化に
日々取り組んでいます。

高 彩加
2015年入所 / 東京事務所 スーパーバイザー



2023

1月
- 冬季休暇
- 四半期レビュー
- 有給取得
- 監査計画
- 四半期レビュー

年始に2月決算の四半期レビューを終わらせたら、研修受講と、1月決算会社のIPO業務の監査計画と期末棚卸を実施。

2月
- J-SOX
- コミュニケーション面談
- 期首残高監査

半年に1回の定期コミュニケーション面談を実施。3月決算の期末監査に向けて共に士気を高めます。

3月
- グループ会社往査
- J-SOX
- 期末監査
- 期末監査

IPO業務の監査報告会も終わらせ、3月決算のJ-SOXと同時に2月決算の期末監査に向けて着々と準備をします。

4月
- 期末監査

2月決算の期末監査が終わるや否や、3月決算の期末監査がスタート。

5月
- 期末監査

期末監査は長期間にわたるので、監査チーム・会社とのコミュニケーションを大事にしています。

6月
- アサイン調整
- グループ会社往査
- 有報監査
- 期中監査
- 監査計画

IPO業務を再開。2022年から所属グループのアサイン調整を行うようになり、メンバーと会社をだんだんと覚えるようになりました。

7月
- 四半期レビュー
- 有給取得
- 監査計画
- 四半期レビュー

7月上旬は一段落する時期なので、有給取得でリフレッシュします。

8月
- コミュニケーション面談
- 夏季休暇
- 期中監査
- 監査計画

半年に1回の定期コミュニケーション面談を実施し、繁忙期での反省点と評価コメントを踏まえ、当年度の目標設定を一緒に行います。

9月
- アサイン調整
- 監査計画
- 期中監査
- 四半期レビュー

監査計画では、当期のKAM草案の見直しも行い、必要に応じて会社とのコミュニケーションを実施しています。

10月
- グループ会社往査
- 監査計画
- 四半期レビュー

重要なグループ会社の往査は、往査日数が少ないため、良い関係を維持するために早期の資料依頼を心がけています。

11月
- J-SOX
- 期中監査
- J-SOX

最初のJ-SOX往査では、内部統制の前期からの変更点の有無の洗い出しからスタート。

12月
- アサイン調整
- グループ会社往査
- 有給取得
- 四半期レビュー
- 冬季休暇

2月決算の四半期レビュー業務は、年内にほとんど終えられるよう、経理担当者の協力を得ながらスタッフと一緒に頑張っています。

Chapter. 4

太陽監査法人とは

39 太陽監査法人の強み
40 グラントソントンインターナショナル（GTIL）とは
42 施設紹介・海外拠点
44 国内拠点情報
46 法人概要
47 グループ会社
48 総括代表社員挨拶

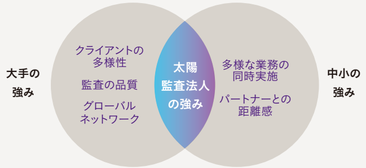
太陽監査法人の強み

グローバル×ミッドサイズという特異なポジション

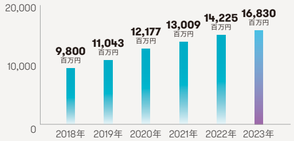
太陽監査法人は、総合的な規模としては5番手となりますが、上場会社数では国内第4位に位置しています。さらなる成長を目指しますが、決して規模だけを追求する監査法人ではありません。この規模感でしか発揮できない特長を最大限に活かし、従来の監査法人とは一線を画す独自の路線で、新しい時代を切り拓いていきます。

大手と中小の長所を兼ね備えたユニークさが促す成長

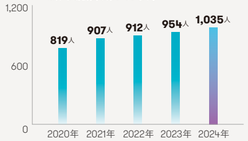
太陽監査法人の規模感は大手と中小の中間にあり、それぞれの長所を兼ね備えています。大手監査法人のように、多様なクライアントの業務が多いため、様々な経験を積むことができます。また、中小監査法人のように、迅速で柔軟な対応を図ることができ、監査チームが巨大ではないことから若手でも影響力の大きな業務を経験できます。



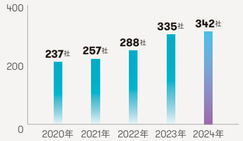
業務収入 2023年6月末現在



人員数 2024年3月末現在
※非常勤務員は除いています。



上場被監査会社数 2024年3月末現在



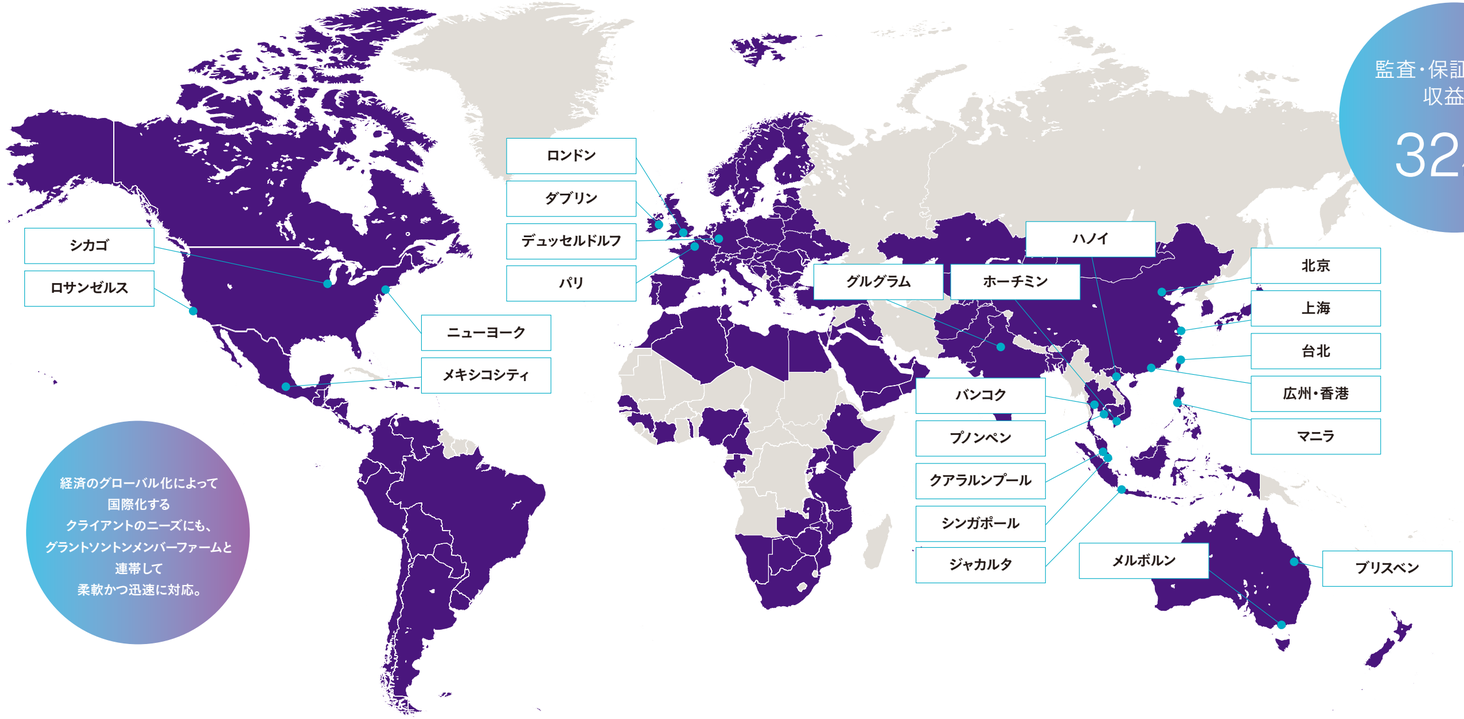
グラントソントンインターナショナル（GTIL）とは

GTILは、世界135カ国以上にネットワークをもつ国際会計事務所のグループです。そのメンバーファームは独立して経営されていますが、世界戦略に基づいて密接な関係を維持しています。売上規模は4大会計事務所グループの次に準じる規模であり、ここ数年間では国際的な同業グループの中で最も高い成長率を記録。顧客は世界規模の大企業から比較的小規模なオーナー企業までの広い範囲に及びます。特に中堅オーナー企業との関係は古くから続いており、要望に合った品質の高いサービスを提供しています。

監査・保証業務の収益は 32億ドル

2023年のグローバルベースの総収益は 75億ドル

世界135カ国以上で
700以上の拠点を有し
73,000人以上の職員が
高品質なサービスを提供



経済のグローバル化によって
国際化する
クライアントのニーズにも、
グラントソントンメンバーファームと
連帯して
柔軟かつ迅速に対応。

Fortune500のうち
Grant Thorntonが

64%に対して
非監査業務を提供

40%に対して
監査・保証業務を提供

「ジャパンデスク」（17カ国・23拠点）

日本企業の海外事業展開を支援するため、世界主要都市に、日本人駐在員または日本語対応可能なプロフェッショナルが常駐。
きめ細やかで質の高いサービスを提供しています。
各国ジャパンデスクと太陽監査法人は「一つのファーム」としてボーダーレスにクライアントをサポートしています。

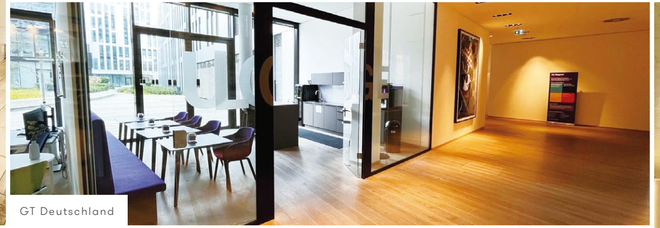
■ 紫色の部分がGrant Thorntonがカバーしているエリアです。
■ 青色で示している部分はジャパンデスクの所在地です。

GT UK

GT Thailand

GT Deutschland

GT Singapore



GT Deutschland

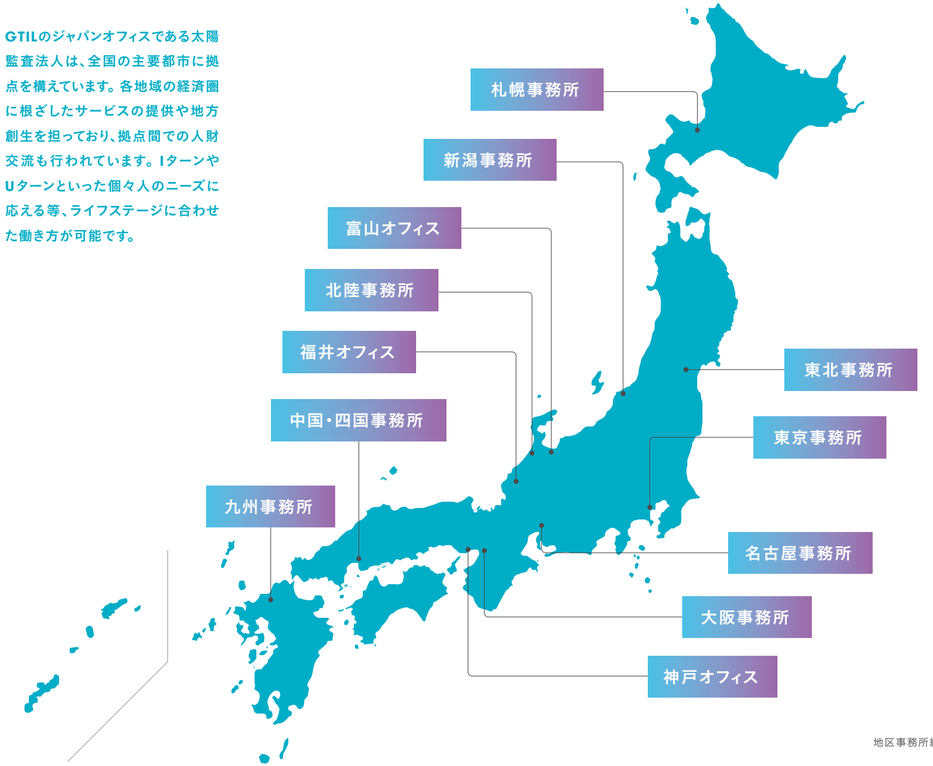
GT Vietnam

GT Vietnam

GT Vietnam

日本全国に広がる活躍のステージ

GTILのジャパンオフィスである太陽監査法人は、全国の主要都市に拠点を構えています。各地域の経済圏に根ざしたサービスの提供や地方創生を担っており、拠点間での人財交流も行われています。IターンやUターンといった個々人のニーズに応える等、ライフステージに合わせた働き方が可能です。



地区事務所紹介パンフレットのP4に記載

拠点所在地

本部・東京事務所	〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー22階	TEL 03-5474-0113 FAX 03-5474-0114
大阪事務所	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階	TEL 06-6373-3030 FAX 06-6373-3303
神戸オフィス	〒658-0032 兵庫県神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションマート8階	TEL 078-858-9995 FAX 06-6373-3303
札幌事務所	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西4-2-2 札幌ノースプラザ7階	TEL 011-596-9351 FAX 011-596-9352
東北事務所	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-2-1 仙台三菱ビル4階	TEL 022-797-2471 FAX 022-797-2472
新潟事務所	〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通2-4-10 日本生命新潟ビル8階	TEL 025-290-7081 FAX 025-290-7082
北陸事務所	〒920-0031 石川県金沢市広岡1-1-18 金沢KSビル6階	TEL 076-231-3270 FAX 076-263-9181
福井オフィス	〒910-0006 福井県福井市中央3-3-21 福井中央ビル3階	TEL 0776-27-3023 FAX 0776-26-4331
富山オフィス	〒930-0008 富山県富山市神通本町1-6-5 富山東京海上日動ビル2階	TEL 076-433-3150 FAX 076-433-3625
名古屋事務所	〒451-6025 愛知県名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー25階	TEL 052-569-5605 FAX 052-569-5606
中国・四国事務所	〒732-0822 広島県広島市南区松原町2-62 広島JPビルディング12階	TEL 082-258-5288 FAX 082-258-4351
九州事務所	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-14-2 福岡証券ビル5階	TEL 092-718-3071 FAX 092-718-3070

主なクライアントにつきましては、
「監査品質向上のための取組み」P48-P50をご覧ください。

法人概要

沿革

1971年9月	太陽監査法人設立
1994年10月	グラントソントン インターナショナル加盟
2006年1月	太陽監査法人とASG監査法人が 合併し太陽ASG監査法人となる
2008年7月	有限責任組織形態に移行 太陽ASG有限責任監査法人となる
2012年7月	永昌監査法人と合併
2013年10月	霞が関監査法人と合併
2014年10月	太陽有限責任監査法人 に社名変更
2018年7月	優成監査法人と合併
2018年7月	本部・東京事務所を 赤坂へ移転

人員構成

代表社員・社員	91名
特定社員	4名
公認会計士	339名
公認会計士試験合格者等	260名
その他専門職	244名
事務職員	96名
顧問	1名
契約(非常勤)職員	279名
合計	1,314名

2024年3月末現在

事務所

法人名称	太陽有限責任監査法人 Grant Thornton Taiyo LLC(英文名称)
総括代表社員(CEO)	山田 茂善
設立	1971年9月
本部・東京事務所	〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー22階
TEL	03-5474-0113
FAX	03-5474-0114
URL	http://www.grantthornton.jp/aboutus/audit/

関与先

金融商品取引法・会社法監査	355社
金融商品取引法監査	23社
会社法監査	159社
信用金庫・信用組合監査	29社
独立行政法人監査	5社
国立大学法人監査	5社
学校法人監査	46社
社会福祉法人監査	12社
医療法人監査	6社
社団・財団・その他非営利	40社
その他の法定監査	126社
その他の任意監査	332社
合計	1,138社

2024年3月末現在

太陽グラントソントングループ会社のご紹介

太陽グラントソントン税理士法人

- 税務コンプライアンス
- 連結納税
- 税務レビュー・セカンドオピニオン
- 国際税務
- 移転価格コンサルティング
- 企業組織再編税務
- グループ企業間取引設計
- 税務訴訟
- 外国人所得税コンサルティング

太陽グラントソントン株式会社

- 資本戦略
- 株価・事業価値評価
- 海外進出・海外ビジネス支援
- 事業承継対策・国際相続・ファミリーオフィスサービス
- 公益法人コンサルティング

太陽グラントソントン・アドバイザーズ株式会社

- 財務・会計デューデリジェンス
- 企業価値評価、内部統制関連業務
- 情報システムコンサルティング
- 不正調査・フォレンジック業務
- 事業再編・再生
- 海外進出支援
- 経営コンサルティング
- 中国ビジネス・税務コンサルティング
- 情報システム導入・運用コンサルティング
- 業務改革コンサルティング
- IPO支援業務

太陽グラントソントン社会保険労務士法人

- 給与計算・労働社会保険手続アウトソーシング
- 雇用契約書・就業規則の作成支援
- 外国人労働者のコンプライアンス支援
- 日本人労働者の海外出向支援
- 企業組織再編労務の支援
- 労務監査・人事内部監査の支援
- システム構築による人事業務改善ソリューション

太陽グラントソントン・アカウンティングサービス株式会社

- 会計帳簿作成
- 月次決算および 年次決算(US基準、日本基準等)
- 銀行口座管理、支払送金業務およびWebバンキングの設定支援
- 海外本部向け報告書の作成
- 金融庁提出報告書(月次モニタリングレポート等)の作成
- 会計監査対応資料の作成
- 減価償却計算、償却資産台帳の作成

Message from CEO

太陽で働くことは、自由を手に入れること。だからこそ、具体的な夢を持ってください。

太陽有限責任監査法人
総括代表社員（CEO）
山田 茂善

監査業界に求められている変革を、太陽がリードする。

世界を取り巻く環境が大きく変化しています。紛争等によって経済活動は停滞し、ＳＤＧｓが経営や資本を左右する時代に入りました。私たち監査法人は、公共財として資本市場の健全性や公正さを保つ番人であり続ける一方で、自然科学者ダーウィンが唱えたように、変化する環境に適応してこそ進化を遂げられます。そこで、テクノロジー活用の遅れや長時間労働等、監査業界に求められている課題の解決を太陽がリードするべく、様々な改革を現在推進中です。その一つが、業務のデジタル化です。移行によって生まれた時間を、クライアントの意思決定等に役立つクリエイティブな業務に割き、ＡＩが持ち得ない高度な付加価値を有する会計士集団へと進化していきます。また、働き方改革も精力的に進め、９０％以上の業務のリモート対応化が可能となりました。働く場所を自由に選べることは、人生さえも変えてくれます。子育てや介護、副業等にも注力しながら会計士として働けるように、週休３日制にしても構わないと私は考えています。ただ、失ってはいけないのが人と人との繋がりです。リアルとリモートの最適なバランスを見極めながら改革を推進していく考えです。

働く時も、学ぶ時も、成長実感を得られる監査法人でありたい。

太陽には、個々の自由な成長を後押しできる環境や仕組みがあります。部門レスな働き方を可能にした組織体制のもと、民間企業から金融、公的機関まで、あらゆる業界に監査を通して関与できます。また、上場に向けた指導力が求められるＩＰＯ業務を誰もが経験できることも、会計士の能力を大きく伸ばしてくれます。ＩＰＯは太陽が創業時から注力してきたアイデンティティとい える業務であり、今後も上場実績で国内トップを目指していきます。

グローバルに活躍できる人財育成にも力を入れており、海外で経験を積める制度も充実しています。世界１７カ国・２３拠点に展開するジャパンデスクは、育成のために用意したステージといっても過言ではありません。現在は、新たな教育研修の開発にも取り組んでいます。いずれにしても大事なことは、皆さんが成長実感を得られること。監査法人であると同時に、人財育成法人でありたいと考えています。

会計士というのは、最も自由が利く職業だと私は思います。だからこそ、入所後どんなキャリアを歩むにしても、具体的な夢を持ってほしいと願っています。